


**GLM**

# Company Overview

会社名 (英文社名)	GLM株式会社 (GLM.Co.,Ltd.)
代表者名	代表取締役 宮下 祐一
設立	2010年4月
資本金	1億円
本社兼開発拠点	〒612-8418 京都府京都市伏見区竹田向代町74-3
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・EVの開発・試作・販売</li><li>・エンジニアリング受託サービス</li><li>・電動化コンサルティング</li><li>・電装部品開発・製造・販売</li></ul> 



トミーカイラZZ EV



GLM - G4  
コンセプト



GLM MiMoS  
(OLD Model)



Apollo G2J Concept

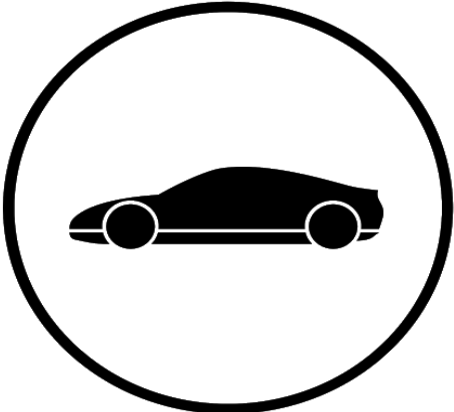
# Company History

- 2010. 4 GLM株式会社 設立
- 2012. 10 オリジナルEV(トミーカイラZZ)での国内認証取得
- 2015. 10 専用ファクトリー (京都府舞鶴市) にて量産開始
- 2016. 9 パリモーターショーにEVハイパーカーのコンセプトモデル **GLM G4** 出展
- 2017. 7 香港証券取引所メインボード上場企業「WE Solutions Limited (現 AFMG)」と資本提携
- 2018. 11 京都市伏見区に京都本社 兼 テクニカルセンター 開設
- 2021. 6 トミーカイラZZ 生産終了
- 2022. 7 宮下 祐一が代表取締役に就任
- 2022. 10 弊社親会社Apollo Future Mobility Group(AFMG・香港HQ)からエンジニアリングプロトタイプとなるEVスポーツカー「G2J」を発表
- 2023. 4 商用車向け車載用サブバッテリーのプロトタイプを発表
- 2023. 8 軽自動車規格の小型 EV 「MiMoS」の国内市場導入を発表
- 2024. 3 24V AUTOMOTIVE SUB-BATTERY SYSTEMの量産を開始
- 2024. 9 自動車工業会主催 「学生フォーミュラ日本大会」へのスポンサーを開始
- 2026. 1 蘭州知豆電気自動車 (Zhidou)と軽規格EVの

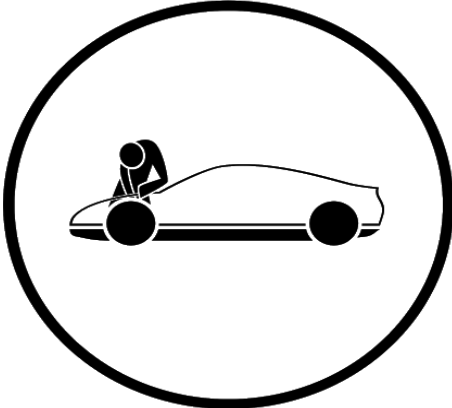


# Business Pillars

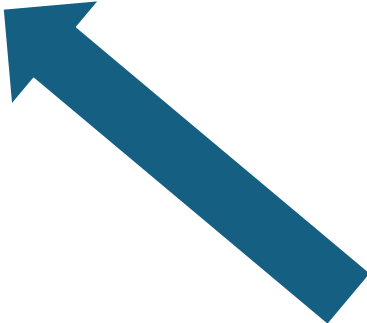
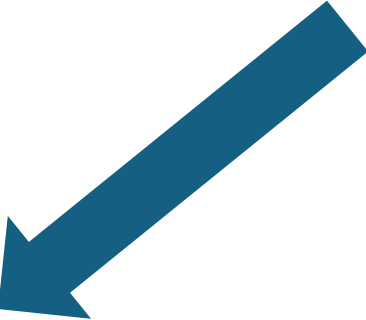
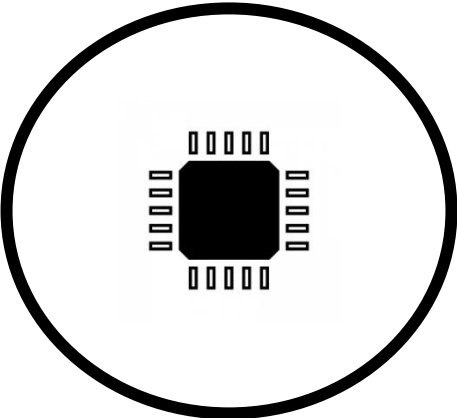
モビリティ開発  
(完成車事業)



エンジニアリングサービス  
(プラットフォーム事業)



電装製品開発  
(ソリューション事業)



# 商用車向け車載用サブバッテリーシステム



## 24V AUTOMOTIVE SUB-BATTERY SYSTEM

・外形サイズ	コントロールユニット 1000(L)×230(W) ×150(H) mm
	バッテリーユニット 540(L) ×340(W) ×240(H) mm
・重量	コントロールユニット 20Kg
	バッテリーユニット 40Kg
・バッテリー容量	2.56KWh (2560Wh)
・セルの種類	リン酸鉄リチウムイオン(LFP)
・使用温度範囲	-10~55℃
・充電温度範囲	0~55℃
・AC出力(×2)	合計定格1500W 疑似正弦波55Hz
・DC出力(×1)	DC24V
・AC入力	AC100V(50/60Hz)
・DC入力	DC24V
・保護機能	過充電保護/過放電保護/過電流保護/短絡保護/過昇温保護
・保証期間	ご購入日より1年間

GLM株式会社 × ダブルクラッチ株式会社の共同プロジェクトによる開発製品です。  
※特許出願中

# 製品の特長

## ✓ 大容量

2.56kWhのリチウムイオンバッテリーを採用。  
様々な家電などの長時間の連続使用に対応出来る電力容量を確保。

## ✓ 高安全性

高い安全性が要求されるEV車載用のリン酸鉄リチウムイオンバッテリー（LFP）を採用。  
過充電や過放電保護、温度管理など、内部バッテリーが安全に動作するよう監視及び管理を行うバッテリーマネジメントシステム（BMS）を搭載。

## ✓ 走行中充電機能

走行中に純正のオルタネーターで発電したエネルギーで充電可能。

## ✓ AC100V・DC24V機器使用可能

AC100V機器(最大1500W)の使用はもちろん、DC24V機器も使用可能。  
日常でご利用されている家電や、既に装備されているパーキングクーラなどの24V製品をそのまま使用可能。

## ✓ 車両運行トラブルへのリスク低減

車載純正鉛バッテリーの電力を使用しない為、休息や待機中の“バッテリー上がり”に対するリスクを低減。

## バッテリー容量（リチウムイオン）

**2.56kWh (2,560Wh)**・・・消費電力(W-ワット)基準表示

2.56kWh (2,560Wh) ÷ 機器の消費電力(kW・W)=使用可能時間

例) 2,560Wh ÷ 300W ≒ 8時間 使用可能

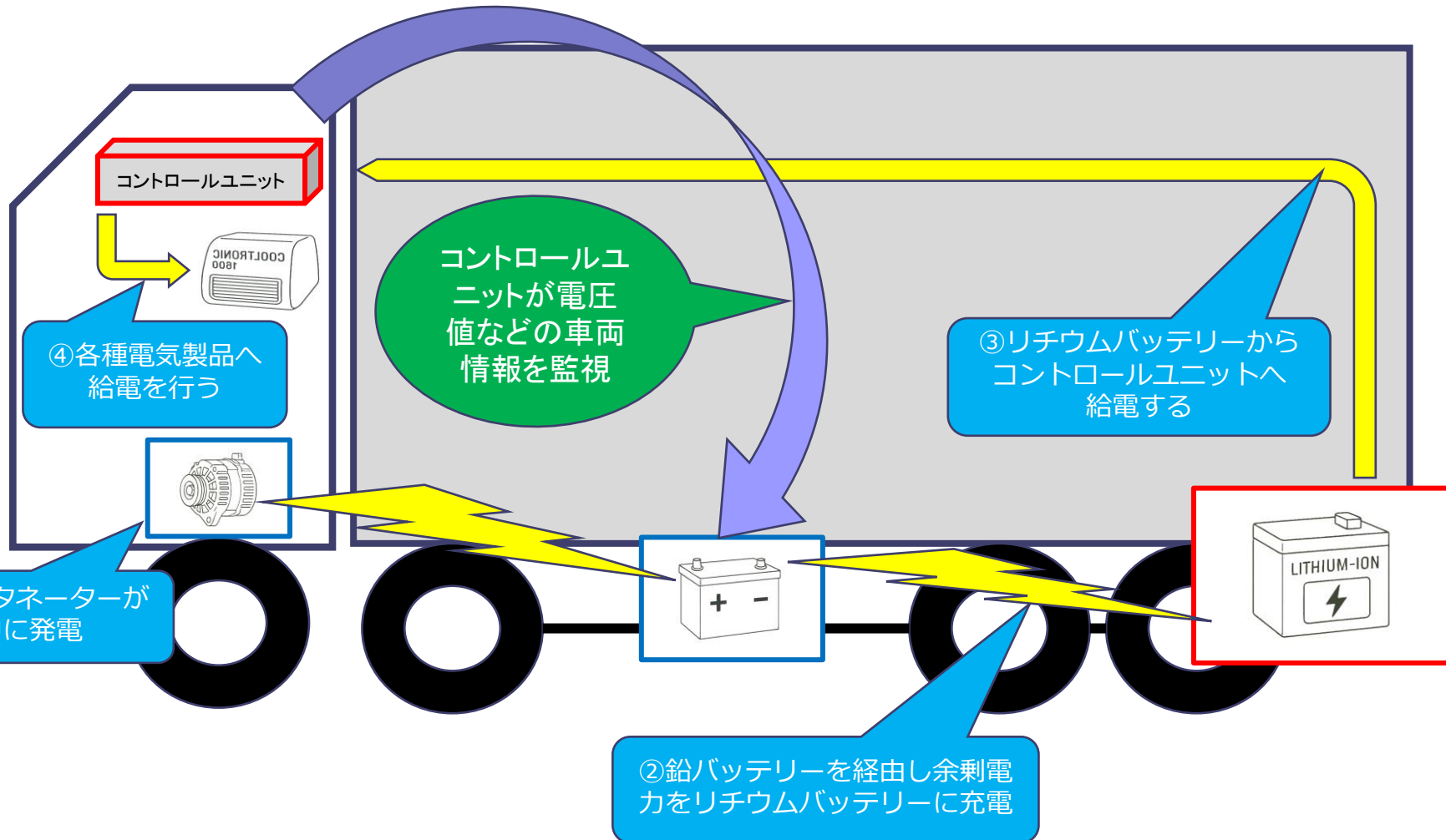
想定使用製品	消費電力 (W)	使用可能時間	想定使用製品	消費電力 (W)	使用可能時間
パーキングクーラー	300W	約8時間	ドライヤー	1200W	約2時間
車載用冷蔵庫	60W	約40時間	電子ケトル	18W	約140回(※)
電気毛布	55W	約45時間	(※)コーヒーカップ1杯分		
スマートフォン充電	33W	約74.2回			
ノートパソコン	30W	約82時間			

【機器ご使用目安について】※計算上の数値です。使用する機器の状態や使用状況により変わります。

# 製品のしくみ



- ✓ 走行中にオルタネーターで自車発電したエネルギーで充電するため、家庭用コンセントからの充電やバッテリー積み下ろしが不要！
- ✓ 待機・休息時の電力はエンジンを切りリチウムバッテリーのみ！
- ✓ 約4時間の走行で80%の充電が可能のため、電欠の心配も無し！



# 製品の搭載・使用イメージ

▶ コントロールユニット



DC24V出力



トラック用機器 使用可  
・パーキングクーラー  
・燃焼式エアヒーター など



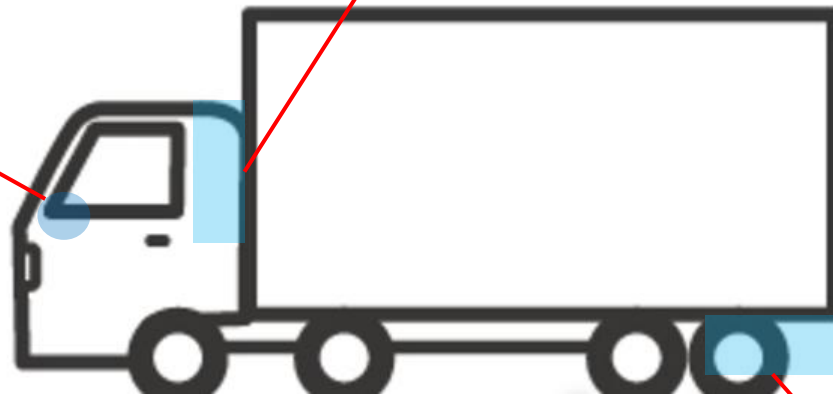
AC100V出力



家庭用機器 使用可  
・電気毛布  
・車載冷蔵庫  
・電子レンジ  
・AV機器  
・スマホ・PC充電



▶ リモコン兼 液晶ディスプレイ



▶ バッテリーユニット(トラクタヘッドの場合)



▶ バッテリーユニット(バンタイプの場合)



# 搭載事例のご紹介 (大型車両)

HINO



ISUZU



FUSO



UD



製品仕様・ご購入方法・リース契約等々ご質問が御座いましたら下記までお問合せください。

ご清聴いただき誠にありがとうございました

## お問い合わせ先

担当部署：管理部

担当者：大森 晃宏

Email：akihiro.omori@glm.jp

TEL：075-681-5511

携帯：080-4589-2572